令和元年 8 月教育委員会会議録

【会議に付すべき事件】

- 議案第 9 号 平成 30 年度熊取町教育委員会活動の点検及び評価について
議案第 10 号 令和 2 年度使用熊取町小学校・中学校教科用図書採択について
議案第 11 号 後援名義使用願の承認について
-

【その他】

後援名義使用願の承認について【報告】 3 件

《8 月分》

生涯学習推進課【煉瓦館・公民館・総合体育館 他関係団体】事業予定
図書館【熊取図書館 他関係団体】事業予定
小・中学校行事予定

《7 月分》

図書館【熊取町図書館 他関係団体】事業報告

《6 月分》

生涯学習推進課【煉瓦館・公民館・総合体育館 他関係団体】事業報告

日 時 令和元年 8 月 9 日（金）午後 5 時 00 分から
場 所 役場北館 3 階 大会議室

【教育委員会定例会出席者】

教育長	勘六野 朗
教育委員（教育長職務代理者）	梶山慎一郎
教育委員	松井みゆき
教育委員	土屋 裕睦
教育委員	鈴木 直子
教育次長	貝口 良夫
理事（学校指導担当）	林 栄津子
理事（生涯学習・図書館担当）	野津 恵
学校教育課長	松浪 敬一
学校教育課学校指導参事	櫻澤 彩香
学校教育課学校指導参事	荒木 圭典
生涯学習推進課長	立石 則也
生涯学習推進課生涯学習参事	瀬野 裕三

図書館長
書記

原田 貴子
南條 剛

開会 午後5時00分

勘六野教育長

ただいまより令和元年8月教育委員会定例会を開催いたします。
本日、署名委員には土屋委員を指名いたしますので、よろしくお願
いします。それでは、議事に入ります。
議案書の1ページ、議案第9号「平成30年度熊取町教育委員会活
動の点検及び評価について」事務局から説明をお願いします。
松浪課長。

松浪課長

議案第9号「平成30年度熊取町教育委員会活動の点検及び評価に
ついて」でございます。
説明の前に、議案書の訂正が2点ございまして、1点目が1ペー
ジの提案理由の2行目ですけれども、「報告」という表現がありまして、
これを「提出」と訂正いたします。これは、地方教育行政の組織及び
運営に関する法律第26条第1項の表現が「議会に提出する」という
表現になっておりますので、これに合わせるものでございます。
2点目が、69ページで、熊取町教育委員会活動の点検及び評価平
成30年度対象事業に対する意見書。この意見書の上に（案）とい
うのが入っております。これについては、7月17日付でお二人の評価
委員さんから意見書という形で既にもういただいております。確定の
内容をいただいておりますので、この（案）の削除をするものでござ
います。
それぞれ差しかえを配付いたしておりますので、お手数ですが差
しかえ分をごらんいただきたいと思います。
それでは、説明をさせていただきます。
本件は、平成30年度に実施した教育委員会活動について、令和元
年度熊取町教育委員会の点検・評価報告書（平成30年度事業対象）
をもとに点検及び評価を行うものでございます。
提案理由でございます。
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に
より、教育委員会はその権限に属する事務について自己点検及び評価
を行い、議会に提出することが義務づけられているため提案するもの

でございます。

なお、本報告書の取りまとめに当たりましては、6月24日及び7月17日に教育委員会評価委員会を開催し、幸野委員及び大野委員の両委員によりまして専門的知見のご助言をいただくとともに、その点検及び評価の結果を69ページに掲載のとおり、熊取町教育委員会活動の点検及び評価に対する意見としてご提出いただいております。

また、議会への提出でございますが、本日ご承認いただいた後は、速やかに9月定例町議会において報告を行いたいと考えております。

以上で議案第9号の説明を終わります。

原案のとおりご承諾賜りますよう、よろしくお願いいたします。

勘六野教育長

中身については、前回の教育委員会でも見ていただいておりますし、変わったところにつきましても報告をしておりますので、今日は69ページに、幸野委員と大野委員からこのような意見書をいただいておりますので、これもお目通しいただきまして、ご質問、ご異議ありましたらお伺いしたいと思います。

ないでしょうか。それでは、この内容の意見をいただいておりますので、あわせて議会に対して提出したいと思っております。

ほかに質問ございませんか。

では、議案第9号「平成30年度熊取町教育委員会活動の点検及び評価について」承認としてよろしいか。

委員全員

(「はい。」の声)

勘六野教育長

議案第9号「平成30年度熊取町教育委員会活動の点検及び評価について」承認とします。

続きまして、議案書の41ページ、議案第10号「令和2年度使用熊取町小学校・中学校教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いいたします。

林理事。

林理事

では、議案第10号「令和2年度使用熊取町小学校・中学校教科用図書の採択について」ご説明させていただきます。

標記について、令和元年7月22日付で泉南郡小学校・中学校教科用図書採択協議会会長和田弘之氏から、令和2年度使用泉南郡小学校・中学校教科用図書採択に関する答申があった。義務教育諸学校の

教科用図書の無償措置に関する法律第13条の規定により、これを承認し答申書記載の教科用図書を令和2年度使用熊取町小学校・中学校教科用図書として採択するというものであります。

それでは、答申を説明させていただく前に、まず無償措置法第13条についてご説明をさせていただきたいと思いますので、75ページをお開きください。

75ページの下の方の段です。第十三条「都道府県内の義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択は、第十条の規定によつて当該都道府県の教育委員会が行なう指導、助言又は援助により、種目（教科用図書の教科ごとに分類された単位をいう。以下同じ。）ごとに一種の教科用図書について行なうものとする。」というものです。

次ページをごらんください。

第4項です。3行目になります。「第一項の場合において、採択地区が二以上の市町村の区域を併せた地域であるときは、当該採択地区内の市町村の教育委員会は、協議により規約を定め、当該採択地区内の市町村立の小学校、中学校及び義務教育学校において使用する教科用図書の採択について協議を行うための協議会（次項及び第十七条において採択地区協議会という。）を設けなければならない。」。5「前項の場合において、当該採択地区内の市町村の教育委員会は、採択地区協議会における協議の結果に基づき、種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない。」とあります。

これにつきましては、5月の定例会議案第4号において、泉南郡小学校、中学校教科用図書採択協議会の設置、規約等への同意及び同協議会における採択結果を尊重することに同意するというこの2つの同意をいただいております。

それでは、委員の皆様方には、答申のコピーになりますが、お配りさせていただきますので、ごらんいただき、それをもとに私のほうで答申書のほう読み上げさせていただこうかなと思っています。

答申につきましては、小学校の全種目の答申と各種目の推薦理由。小学校の後ろには中学校の全種目の答申と各種の推薦理由のほうを資料に添付しております。小学校につきましては、全種目の答申と、あと推薦理由、全種目の推薦理由を読み上げさせていただきますが、中学校については、今年度採択の年ではありましたが、新たな検定本がなかったこと、また、道徳については昨年採択しておりますが、それについては今年度ももう1年同じ教科書を使うことというふうになっておりますので、そういった理由、また、現在中学校で使用している

教科書について、特に特設学校のほうから意見がないということから、前回採択した教科書を引き続き来年度も使用するというのを協議会のほうで決めておりますので、中学校につきましては、推薦理由のほうはもう読み上げずに、全種目の答申のみを読み上げさせていただくこととなります。

それでは、1枚目ごらんください。読み上げさせていただきます。

熊取町教育委員会様。令和2年度使用泉南郡小学校・中学校教科用図書採択に関する答申。標記について、泉南郡小学校・中学校教科用図書採択協議会規約に基づき、令和元年5月20日から教科書採択に関する調査研究活動を続けてまいりました。ここにその結果を取りまとめ、別紙のとおり答申いたします。令和元年7月22日。泉南郡小学校・中学校教科用図書採択協議会会長和田弘之。

1枚おめくりください。

令和2年度使用小学校・中学校教科用図書採択に関する答申書。

小学校。国語、光村図書出版株式会社。書写、東京書籍株式会社。社会、東京書籍株式会社。地図、株式会社帝国書院。算数、日本文教出版株式会社。理科、株式会社新興出版社啓林館。生活、日本文教出版株式会社。音楽、株式会社教育芸術社。図画工作、日本文教出版株式会社。家庭、東京書籍株式会社。保健、東京書籍株式会社。道徳、光村図書出版株式会社。外国語、光村図書出版株式会社。

それでは、次に、各種目の推薦理由について読み上げさせていただきます。

種目、国語、発行者の番号、略号、38、光村。推薦理由、主体的、対話的で深い学びの実現を目指し、見方、考え方が見てわかるように工夫されている。「学びへのいざない」のページでは、作品文章への読みの着眼点を示しており、学習の見通しをつけやすい構成となっている。幅広い視野が育つような作品構成になっており、取り上げるジャンルに偏りが無い。「漢字の広場」や「言葉の宝箱」が記載されており、子どもがさまざまな言葉に触れ、言葉の力が育まれるよう工夫されている。学びの軌跡がわかりやすい構成で、次の学びへのつながりを明確に示す工夫がある。6年間で450冊を超える読書紹介だけでなく、読書活動の方法も丁寧に紹介されている。

種目、書写、2、東書。推薦理由、全学年を通して、書写の「原理・原則」を「書写のかぎ」と名づけて系統立てており、児童がそれを「見つける」「確かめる」「生かす」ことで、児童が主体的に学ぼうとする意欲や態度を育成することができる。どの子も安心して学べ

るように多様な学習方法を取り入れたり、色覚多様性や左ききへの配慮がなされたりしている。教科書の幅が広く、書くスペースや説明のスペースが確保されており、学習しやすいよう工夫されている。低学年では、書きやすい姿勢で学習に取り組めるよう「しょしゃたいそう」のページがある。

種目、社会、2、東書。推薦理由、見開きページごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」の構成になっており、単元や1時間の目標がわかりやすい。6年生の教科書は、「歴史編」と「政治国際編」に分冊されており、持ち運びにおいて児童の負担が少ない。学習の内容を児童がイメージしやすいように写真やイラストが豊富で見やすい。また、流れや展開のある写真については、見開きで掲載しており、活用しやすく見やすい。さまざまな仕事や社会的活動にかかわる人の姿を取り上げ、キャリア教育の視点から、共感的に人の生き方から学ぶことができるようにしている。

学習したことを生かして社会的な事柄に参画したり、提案、発信したりする学習場面を具体的に例示している。

種目、地図、46、帝国。推薦理由、3年生からの使用に対応し、初めて地図帳を手にする児童がつまづかないように、地図の成り立ち、方位、地図記号、距離の求め方、索引の使い方、縮尺などを巻頭で12ページにわたってわかりやすく解説している。社会科だけでの利用にとどまらず、他教科等との関連を意識したつくりとなっている。手話等の特設コラムもあり、人権教育との関連も組み込まれている。広島に掲載ページには原爆被害範囲が載せられている。「領土・領海・領空」などの用語を模式図でわかりやすく説明している。巻末の日本の自然の様子、自然災害と防災、産業の様子、世界との結びつき、世界文化遺産のページなど、資料図も豊富である。広く見渡す地図（160万分の1）を扱うことで、全体像や関連を学習しやすい。索引数が豊富である。

種目、算数、116、日文。推薦理由、学習指導要領の目標や内容などが適切に反映されている。学び方についてやノートモデル等、子どもたちの学びの支えになることが教科書の巻頭にある。子どもたちが自ら学び続けられるよう巻末に問題解決的な学びを進めるための学び方ガイドがついている。子どもの発表の場面が、言葉・式・図等の言語活動を意識した内容になっている。プログラミング教育に関する内容を記載しており、WEBでつなげると学習できるようになっている。1年生では、保育園や幼稚園での経験をもとに問題場面が設定さ

れ、6年生「もうすぐ中学生」では、中学校数学科との題材の関連について紹介されている。教科横断的な視点から、他教科、防災、伝統文化、国際理解などが題材として取り上げられている。

理科、61、啓林。推薦理由、子どもたちがみずから活動し、ゆとりを持って問題解決学習を行うのに適切な時数の配分となっている。「ふり返ろうまとめノート」は、子どもたちが自分で学習のまとめをする際の参考になる。巻頭に理科学習の進め方（問題・実験観察・結果・考えよう・まとめ）についてわかりやすく説明されている。雲の観察カードや月の満ち欠けのモデルカードが巻末にあり、自発的に調べ、より理解が深まるよう工夫されている。写真・印刷・文字の大きさ・レイアウト等、大変見やすいものになっている。「他教科マーク」や「くらしページ」「つなげよう」など、理科で学習したことを活用・応用する力が身につけられるように工夫されている。

種目、生活、116、日文。推薦理由、見通しを持って学習できるように、単元で学ぶ内容をイラストで示すなど構成に工夫が見られる。「きれいはなをさかせたい」の単元では、種子から花が咲くまでの成長の過程を、教科書を折ることで比較しながら観察することができる。電車の優先席の説明や実際に触れることのできる点字があり、バリアフリーの視点を取り入れられている。身近な人々や地域社会、自然と直接かかわる等の活動を通して、自分自身の生活についての新たな気づきを促しやすい内容となっている。鮮明な色調と文字で印刷され、軽量化もなされている。他教科との学びをつなげる事例をさまざまな角度から例示している。

音楽、27、教芸。推薦理由、子どもの言語活動が充実するように、学習のねらいの達成に向けて考えるべき内容や発言の例が示されている。各ページの最下部に共通事項が記載されており、指導の切り口がわかりやすい。また、共通事項の内容は、各学年各題材において適切に設定され、学習活動が効果的に幅広く進められるよう配慮がなされている。童歌や民謡、和楽器、世界の楽器などの学習が学年ごとに配列されている。子どもやキャラクターの吹き出しを充実させ、気づいてほしい点や創造工夫のポイントをわかりやすく示し、対話的で協働的な学習が進められるようになっている。国歌「君が代」については、児童が生活の中で触れる機会を捉え、発達段階に合わせて親しみを持てるように工夫されている。

図画工作、116、日文。題材は、学習指導要領に示された5つに分けられており、活動の内容を把握しやすい。表現活動においても鑑

賞の能力を育てることができるように「学習のめあて」において「見たり感じたりすること」という鑑賞の観点を示すとともに、情景写真やコメントで示している。異学年交流や身近な地域、社会とつながる活動を紹介することで、人との触れ合いや共生を通して造形表現を深めていくことができるようにしている。友だちの活動や作品を見合ったり話し合ったりしている様子が各ページに掲載され、児童同士の自由な鑑賞と対話的な学びを促す効果をもたらしている。思考を促し、試してみたいくなるような仕掛けがたくさんある。作業やつくり方を単に紹介するだけでなく、「わたしのおもい」として、自分なりに表現することの大切さを伝えている。新しく使用する道具の使い方が丁寧に説明されている。

種目、家庭、2、東書。推薦理由、学習指導要領に準拠した題材と内容が豊富で、日常生活に生かせる活動例や実習例を重点的に取り上げている。学習内容ごとに、具体的なめあてや学習の流れが示されており、見通しを持って問題解決的な学習が繰り返し行えるように工夫されている。ページ下の「ふり返ろう」で本時の授業の振り返りができるようになっていて、学習の定着が図れる。「やってみよう」「話し合おう」「調べよう」という課題が示され、児童が主体的に学べるようになっている。写真の大きさや本文の量は、A4版を用いることで視覚的効果を高め、学習の流れが把握しやすい。作業する手のアップ（右きき、左きき）や姿勢の写真などを豊富に掲載している。日本の伝統や郷土、地域に関する内容を取り上げ、日本の伝統マークを付することで、日本文化の大切さを知り、理解と愛着を深めるなど、昔の風習を見直そうとする興味深い内容が豊富である。

種目、保健、2、東書。推薦理由、1時間の学習の流れが、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」と明確に示されている。ステップごとに学習項目が分割されていて、書き込みスペースも広いため、教科書のみを使って多様な学習活動ができる。単元の初めに「ここで学ぶこと」として課題が提示されているためわかりやすい。「話し合おう」では、対話的に学びを深める工夫が見られ、協力して学習課題に取り組む姿勢を養うことができる。太く、優しい字体で書かれており、言葉のまとまりで改行しているため読みやすい。「犯罪被害の防止」の單元では、インターネットによる犯罪被害についての記述があり、インターネットを活用する機会が多い現代の児童に適した内容となっている。

種目、道徳、38、光村。推薦理由、学習のまとまりを表す印があ

り、児童の成長段階に合わせて学習することができる。読み物教材や写真、絵地図、詩、コマ割りのものなどがバランスよく取り入れられており、児童の興味を引く内容になっている。いじめ問題・情報モラル等、現代的な課題については、「ユニット」で、じっくりと向き合えるように設定されている。情報モラル、環境問題、国際理解などにも力を入れた資料が系統立てて載っており、学年を追うごとに積み重ねることができる。各学年の第1回目の教材は、心が温まり、気持ちのよいスタートが切れるような内容である。児童が安心して話し合えるよう、1年生から5年生の5月には、「お互いを大切にするクラス」になるための手だてとなるページが設定されており、自分の考えを表すときや友だちの考えを受けとめるときの言い方を、具体的に例示している。

種目、外国語、38、光村。推薦理由、4技能5領域の言語活動がバランスよく配置されており、同色のわかりやすいマークで活動の領域が示されている。各レッスンで「書く」の領域や、相づちなどの「response」が毎回含まれていて、「書く」「話す」の言語活動が充実している。各ユニットに歌やChantsの英語の歌詞が提示されており、「聞く」だけでなく、「読む」という面でも配慮されている。「WorldTour」や「世界の友達」のページからさまざまな国の情報を得て、外国文化に対する理解を深め、国際協調の精神を養うことができるように配慮されている。「Hop」「Step」「Jump」と段階的な学習ができ、年間の学習した表現を巻末にて振り返ることができる。各ユニットやレッスンのそれぞれの目標が提示されていてわかりやすい。

以上が小学校の答申と推薦理由になります。

続きまして、中学校です。

中学校につきましては、答申書のみ読み上げさせていただきます。

令和2年度使用小学校・中学校教科用図書採択に関する答申書。

中学校。国語、光村図書出版株式会社。書写、東京書籍株式会社。地理、東京書籍株式会社。地図、株式会社帝国書院。歴史、株式会社帝国書院。公民、教育出版株式会社。数学、学校図書株式会社。理科、東京書籍株式会社。音楽、教育出版株式会社。器楽、株式会社教育芸術社。美術、日本文教出版株式会社。保健体育、東京書籍株式会社。技術、東京書籍株式会社。家庭、東京書籍株式会社。英語、東京書籍株式会社。道徳、日本文教出版株式会社。

答申書の説明は以上になります。

議案の72ページ、73ページごらんください。ここにも令和2年使用の教科用図書の一覧を左側には小学校の教科用図書、右側、73ページには中学校の教科用図書の発行者、教科書名を掲載しております。

以上で説明を終わります。令和2年度使用熊取町小学校・中学校教科用図書の採択についてご承認いただきますようよろしくお願いいたします。

勘六野教育長

ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんでしょうか。

ご意見、ご質問はございませんか。

それでは、議案第10号「令和2年度使用熊取町小学校・中学校教科用図書の採択について」承認としてよろしいか。

委員全員

(「はい。」の声)

勘六野教育長

議案第10号「令和2年度使用熊取町小学校・中学校教科用図書の採択について」承認とします。

また来年度、中学校の教科用図書の採択協議会がありますので、また教育委員さん、ご協力願うと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次に当日配付しております議案書の104ページ、議案第11号「後援名義使用願の承認について」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

立石課長。

立石課長

当日配付分の議案書104ページをごらんください。

議案第11号「後援名義使用願の承認について」ご説明申し上げます。

令和元年7月24日付で陳静武術太極拳協会陳静氏より、以武会友・第1回大阪国際武術太極拳交流大会について、当委員会の後援名義使用願があったので、これを承認するものでございます。

本案件は、新規の案件としてご審議をお願いするものでございます。105ページをごらんください。

行事の名称は、以武会友・第1回大阪国際武術太極拳交流大会でございます。以武会友という意味ですが、武術を学び友を得るというものでございます。

次に、主催なんですが、主催は陳静武術太極拳協会大阪国際武術太極拳交流大会実行委員会でございます。開催日は、令和元年11月10日日曜日でございます。開催場所は、熊取町立総合体育館ひまわりドームでございます。

行事の概要ですが、熊取太極拳フェスティバルの第20回開催という記念すべき大会を盛り上げるため、また、武術太極拳のさらなる普及、競技を通じての技術向上と国際交流を目的とするものです。

なお、第20回熊取太極拳フェスティバルにつきましては、前日の11月9日土曜日に開催します。

参加予定人員は、当グループ会員、熊取町内太極拳サークルを含む国内外交流団体約150人。参加対象者は150名。観覧者は除きます。参加者負担は、これ、ありで、3,000円。1チームの参加の場合は、1種目1万5,000円でございます。観覧につきましては無料です。

周知方法は、ホームページ、インターネット及び関係各所でのポスター、チラシによる掲示・配布でございます。

なお、収支予算、協会の会則は別紙のとおりでございます。

よろしくご審議いただきまして、ご承認賜りますようお願いいたします。

以上で説明を終わります。

勘六野教育長 初めで行われる大会なんですが、ご質問はございませんでしょうか。

土屋委員 拝見すると、もう町のほうからは後援をいただいているということなんですね。

立石課長 そうです。

勘六野教育長 よろしいですか。

土屋委員 はい。

勘六野教育長 ほか、ございませんか。

ご存じのように、陳静さんというのは、町の大使であるんですけども、先ほど説明ありましたように、20回ずっと太極拳フェスティバルというのをひまわりドームでやられていて、それにあわせて、

20回に花を添えるために中国や、あるいは日本全国から太極拳やっている人が改めて集まってきてくれるということの後援名義ということで、内容的には、今までの太極拳フェスティバルよりもう少し専門家たちの集まりみたいな、そういう面もあるということです。

そのほか、補足事項ございますか。

野津理事

先ほど申し上げましたとおり、この国際武術交流大会に関しましては、教育長からも補足もございましたとおり、中国からもたくさん選手も来られるということもありますし、また、かなり中国の、いわゆる日本でいうところのスポ庁の長官に当たるような、かなり高位の方もお見えになるということで、国際交流という観点の側面も今回はあるということで、我々は太極拳フェスティバル、従来から取り組んできているということで、教育委員会としてはそちらをメインに事業を遂行する。また、この国際交流大会のほうには、今回後援名義の承認をお願いしておりますけれども、熊取町も国際交流の観点から、この実行委員会には参画して、教育長も実行委員会に名前を連ねていただいているんですけども、積極的に関与して、ともに盛り上げていきたいという状況で進めていくところでございます。

以上でございます。

勘六野教育長

初めての大会の、おおよその内容がわかっていただいたかと思いますが。

他に質問ございませんか。

では、議案第11号「後援名義使用願の承認について」承認としてよろしいか。

委員全員

(「はい。」の声)

勘六野教育長

議案第11号「後援名義使用願の承認について」承認とします。

以上で本日の会議に付されました議案が終了いたしました。

ほかに議案審議すべき議案はございますでしょうか。

(その他 報告事項)

勘六野教育長

では、続きまして、その他の報告事項に入りたいと思います。

順次、挙手の上、報告をお願いしたいと思います。

立石課長。

立石課長 『後援名義使用願の承認について（第27回KIX泉州国際マラソン）P. 94より説明』

勘六野教育長 例年行っている後援の行事ですけれども、ご質問はございませんか。既にもう専決で後援承認しておりますので、その次の報告をお願いいたします。

瀬野参事。

瀬野参事 『後援名義使用願の承認について（貝塚熊取吹奏楽祭2019）P. 95より説明』

勘六野教育長 既に終わってしまった行事ですが、後援を承認しているという報告をさせていただきます。ご質問ございませんか。

じゃ、その次の報告をお願いいたします。

立石課長。

立石課長 『後援名義使用願の承認について（第15回全国フライトエアロビック選手権大会）P. 96より説明』

勘六野教育長 ご質問ございませんでしょうか。

去年も後援しているので、もしご質問がなければ同じように承認という形でよろしいですよ。

梶山委員 質問だけよろしいですか。

勘六野教育長 はい、どうぞ。

梶山委員 これ、全国大会ですね。

勘六野教育長 はい。

梶山委員 熊取町でやるというのは、何かあるんですか、つながりとか何か。特にこの全国大会、結構大きいと思うんですけれども。

立石課長 そうですね。これ、ひまわりドームのほうの、全国のそういった大会を招致するという中で、このエアロビックというのを招致してきたという部分ございまして、町内の方でも大阪体育大学の3回生の方でも、エアロビックの世界大会で優勝したりとかいう方もおられますので、今、ちょっと非常に盛んにはなっておるんですが……。

梶山委員 最初は誘致されたんですか。

立石課長 はい。ほかにもいろんな、太極拳であるとか、いろんな形で誘致をしております、今、毎年やっているという状況でございます。

野津理事 何かスズキ自動車何か協賛して、今、ドームを拠点に練習しているチームがあって、そういうところとのつながりもあって、もう6回にもなるんですけども、毎年のように開催いただいているようでございます。

梶山委員 わかりました。

勘六野教育長 ほか、質問ないですか。
では、そのほかに何か報告ありましたらお受けしたいと思います。
林理事。

林理事 『小・中学校行事予定P. 113により説明』

勘六野教育長 小・中学校の予定について、ご質問ございませんか。
では、そのほかに説明、報告ありましたら。

立石課長 『生涯学習推進課事業予定P. 97～P. 98により説明』

勘六野教育長 ご質問ございませんか。
では、そのほかに報告ありますか。
図書館長。

原田図書館長 『図書館事業予定P. 99～P. 100により説明』

勘六野教育長 ただいまの図書館長からの説明で、何かご質問はございませんか。

ないようですので、そのほかに全体通じて何か報告がありましたら
お願いしたいと思いますが、いかがですか。

ないようですので、これをもちまして令和元年8月の教育委員会定
例会の審議並びに報告を終わりたいと思います。

どうもご協力ありがとうございました。

閉会 午後5時49分